

森安発電所 事業概要

宮川水力開発合同会社

宮川水力開発合同会社（本社：岐阜県飛騨市）は、株式会社環境総合テクノス（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：中山崇）と、協業組合H・C建設（本社：岐阜県飛騨市、会長理事：倉家孝雄）が出資して2018年10月1日に設立しました。

長年にわたり、水力発電所の調査設計・保全業務を担ってきた株式会社環境総合テクノスの水力発電に関するノウハウと、地元の飛騨市において土木建築業務を手がける協業組合H・C建設の工事施工力を活かして、地域と調和のとれた水力発電所の建設と運用を目指しています。

森安発電所は、岐阜県飛騨市宮川町森安において発電出力550kWの水力発電所を、2019年6月より建設し、2020年10月（予定）から発電を開始するものです。

年間予定発電量は3,386MWhで、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、発電した全電力を20年間、中部電力株式会社へ売電いたします。

本事業の設計は株式会社環境総合テクノスが行い、土木建築工事および「森安発電所」の運営管理については協業組合H・C建設が行います。建設にあたっては、地元の皆さまや関係各所にご協力とご理解をいただきながら進めてまいります。

水力発電所設備（イメージ写真、他社施工事例）

《 取水えん堤 》

発電に必要な水を取水します



《 導水路 》

取水した水を発電所まで送ります



《 水車・発電機 》

水車を回転させて発電します



発 電 所 概 要

名 称	森安発電所
所 在 地	岐阜県飛騨市宮川町森安
水系・河川名	神通川水系・宮川支流 森安谷川
流域面積	12.0 km ²
発電方式	水路式【流れ込み式】
最大出力	550 kW
最大使用水量	0.80 m ³ /s
最大有効落差	89.10 m
年間可能発生電力量	3,386 MWh
CO ₂ 削減量	年間約1,700 t (※)
取水えん堤	重力式コンクリート 高さ5.6m 堤長34.5m
導水路	圧力式ポリエチレン管 外径0.9m 延長1,265.25m
発電所	地上式 鉄筋コンクリート造
水車・発電機型式	ターゴインパルス水車・誘導発電機
着 工	2019年 6月
しゅん 工	2020年10月
発電事業者	宮川水力開発合同会社
設計・施工	環境総合テクノス・HC建設

(※) 1kWh 当たり CO₂ 削減量：0.518 kg-CO₂/kWh(一般電気事業者全国平均値 H28 年度) から算出

会 社 概 要

会社名	宮川水力開発合同会社
職務執行者	川島 勉 堂前 弘一
本社所在地	岐阜県飛騨市宮川町林 94 番地
出資会社	株式会社 環境総合テクノス (50%) 協業組合 H・C建設 (50%)
資本金	80 百万円